

令和7年度第1回下越地域医療構想調整会議

1 開催日時

令和7年7月28日（月） 午後6時30分から午後7時30分まで

2 開催方法

Web開催

3 会議の概要

(1) 新潟県外来医療計画に係る医療機器の共同利用計画について

- ・ 事務局から資料1により、竹内病院のMRIに関する共同利用計画、黒川病院のマルチスライスCTに関する共同利用計画、たかはし脳外科ヒフ科医院のマルチスライスCTに関する共同利用計画を説明。各医療機関の計画内容を確認した。

(2) 病床機能の変更等について

- ・ 資料2により、県立新発田病院、県立坂町病院から病床機能の変更を報告後、事務局から下越地域の許可病床、機能別病床の状況を説明した。
- ・ 県立新発田病院の変更内容は、令和7年9月に急性期病床を11床減少するもの。変更理由は、令和5年10月から11床を休床させ運用してきたが、医療提供体制に支障ないためである。
- ・ 県立坂町病院の変更内容は、令和7年9月に急性期病床を1床減少するもの。変更理由は、感染症患者等の迅速な隔離対応等のため2床室を個室にするためである。
- ・ 質問や意見はなく、調整会議としては意見なしとして会議結果を県へ報告することとした。

(3) 下越地域の病床及び医療の提供状況について

- ・ 事務局から資料3により、下越地域の病床及び医療の提供状況について説明した後に、意見交換を行った。
- ・ 意見交換では、各病院の平均在院日数、病床利用率、入退院の状況等について補足説明や、在宅医療へのシフト等の今後の意向について、また、限られた医師数で日々の診療を行っている現状について発言があった。
- ・ 看護協会新発田支部から、看護職の確保や育成は病院の枠を超えて地域全体で行うことが重要であり看護部長間の連携に力を入れている現状や、専門看護師や認定看護師を地域全体で有効活用してほしいとの発言があった。
- ・ 村上市から、近年の外科の機能縮小により地元で手術が行えないことや、他科についても同様となることを大変懸念していることを会議内で共有したいと発言（通信機器の不具合により、事務局が代弁。）があり、県立新発田病院から村上総合病院への外科の応援の状況について説明があった。